

令和6年度 国富町立森永小学校 学校評価書

4段階評価 【 4 期待以上 3 ほぼ期待通り 2 やや期待を下回る 1 改善を要する 】

※本年度の重点目標 (1 学力の向上 2 豊かな心の育成 3 健康な心身の育成 4 特色ある教育活動の展開)

評価項目	評価指標	学校の自己評価結果	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価コメント													
学力の向上	1 主体的・対話的で深く学ぶ学習態度の育成 2 児童一人一人の実態に応じたきめ細かな指導の実践	<ul style="list-style-type: none"> 「ひなたの学び」を意識した授業を実践し、ICTを効果的に活用することで、児童の学ぶ意欲を高めたり考えを広めたりすることができた。 問題集やAIドリルを活用するなど、森っ子タイムの内容を見直し、計画的に実施することで、個に応じた指導を継続的に行うことができた。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 児童の理解度や学習意欲を高めるICTの活用とともに個々の児童の習熟度に合わせたAIドリルの学習に期待したい。 AIドリルの活用など業務効率のレベルアップが感じられる。 インターネットなど情報化の中で書くこと自体の活動があまりないと思われるため、書く活動もどんどん取り入れて欲しい。 													
	3 読書活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館職員による図書室の環境整備や読書活動の推進と、図書委員会児童による図書集会やビブリオバトルなどの活動を行ったこと読書活動の活性化につながった。 年間読書目標を設定し、学級の達成度を視覚的に表示した。また読書記録カードを活用したり、ボランティアグループ「いちょう」の皆様や教師による読み聞かせを実施したりすることで、児童の読書意欲を高めることができた。 	3	4	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館職員の配置により、児童の読書活動の活性化につながっているのは確かだ。 ボランティアグループ「いちょう」の読み聞かせは、とても良い。さらなる充実を望む。 ビブリオバトルなど、読書活動のレベルアップを感じられます。 図書室が明るく部屋全体が綺麗でのびのびしてきた感じがしてすごく良い。子ども達の本に対する興味が益々出してくれれば良いと思う。読み聞かせも真剣に聞いてくれる姿勢があり、実際に読んでいて嬉しい。 図書室の環境が良くなつた。続いていると良い。 													
	4 外国語活動の指導法の研究及び実践	<ul style="list-style-type: none"> ALTを活用することで、外国語と日本語の音声の違いに気付いたり、外国の文化への関心を高めたりすることができた。 デジタル教科書の視聴覚教材を活用し、授業改善を目指すことで、児童が自分の考えを伝え合うことができた。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ALTの活用は、児童の国際的視野の獲得につながっていく。デジタル教科書などICTを積極的に活用してほしい。 外国文化への関心度が高められる効果を感じる。 今後もALTの効果的な活用をお願いしたい。 													
	5 家庭と連携した家庭学習習慣の定着	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">〈学校評価の結果〉</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>すごくそう思う</td> <td>だいたいそう思う</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>42.2%→61.4%</td> <td>35.6%→20.5%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>30.8%→61.5%</td> <td>51.3%→30.8%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>0.0%→30%</td> <td>90.0%→70%</td> </tr> </table> <p>・「家庭学習の手引き」や「家庭学習の七つの約束」の配付及び周知（参観日懇談会）、家庭学習チェック週間の実施を通して、家庭学習の習慣化が図られている。</p>	〈学校評価の結果〉		児童	すごくそう思う	だいたいそう思う	児童	42.2%→61.4%	35.6%→20.5%	保護者	30.8%→61.5%	51.3%→30.8%	教師	0.0%→30%	90.0%→70%	3	3
〈学校評価の結果〉																		
児童	すごくそう思う	だいたいそう思う																
児童	42.2%→61.4%	35.6%→20.5%																
保護者	30.8%→61.5%	51.3%→30.8%																
教師	0.0%→30%	90.0%→70%																
1 基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 児童会で、トイレのスリッパと4つの無言の場について、児童が主体的に活動する取組を行い、きまりを守って生活しようとする意識が高まった。トイレのスリッパがきれいに並ぶようになった。 朝の登校班のあいさつの声が大きくなってきた。6年生を中心に朝のあいさつ運動を行い、意識が高まった。 清掃縦割り班の班長のリーダーシップで、時間いっぱいいくことができた。学年間での交流を通して進んで活動できた。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 児童の主体的な活動による取組の結果を整頓されたトイレのスリッパを目視して実感した。 靴箱も同じような取組があると良い。 自宅の前を登校する児童たちが元気よくあいさつしてくれるのは気持ちがよい。 トイレのスリッパは、いつも利用する度に綺麗に並んでいて気持ちがよい。 下校時のあいさつは、自分からもっと元気にしてくれると良い。 縦割り清掃は、上級生のリーダーシップを育む上でも効果があったと思う。 														
豊かな心の育成	2 望ましい人間関係を醸成するための指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 心のアンケートを毎月実施し、その後、教育相談と全職員で心の会を行うことで、児童の心に寄り添った指導を行ってきた。12月は持ち帰り、保護者と一緒に心のアンケートを行っている。 毎月のアンケート実施等の取組が保護者に伝わっていないなかつたようなので、通信等で知らせていきたい。 いじめ事案の早期発見、全職員での対応を徹底し、再発防止に努めてきた。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 心のシケートの実施は、児童の心に寄り添った指導とともに、いじめ事案の早期発見に即応できる。 悩みアンケート実施プリントも見せていただく機会があれば見たい。 アンケート結果がグラフ化されたことで保護者に伝わりやすくなつたと思われる。 													
	3 道徳教育推進による自尊感情の高揚	<ul style="list-style-type: none"> 参観日は年1回必ず道徳の参観授業を実施し、保護者と連携した道徳教育の推進を行うことができた。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育は児童の思いやりや寛容・感謝の心、奉仕の精神の育成に大切だ。保護者との連携を密にして推進してほしい。 道徳教育の充実が図られている。 今後も充実した道徳教育をお願いした 													

					い。
	4 情報モラル教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> DQワールドに取り組み、インターネットトラブルを防ぐための、情報モラル教育が充実した。 児童用タブレットの持ち帰りの仕方について、職員間の共通理解を図り、高学年から段階的に学年を指定し持ち帰りを実施している。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> DQワールドの取組は、情報の虚偽か真実を見分ける判断力を身につけるためますます重要だ。児童用タブレットの取扱いについては、職員、保護者間で共通理解をもって対応してほしい。 タブレットを活用することで、ますますインターネットへの興味が出て良いのではないか。授業中の子どもの変化もあり良いと思う。 情報のセキュリティには十分配慮してほしい。
健 康 な 心 身 の 育 成	1 体力向上プランによる基礎体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> スポーツテストの結果をもとに、スクールスポーツプランの作成やサークルトレーニング、元気タイムを実施した。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 体力の向上、むし歯の治療、食育の実践は児童の健全な心身の醸成にかかせない。
	2 健康教育・安全教育の推進 3 食に関する指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> う歯治療の呼びかけを積極的に行い、治療率も上がってきたが、今後も啓発が必要である。 食育については栄養教諭や家庭と連携を図り、充実した指導を行うことができた。 			<ul style="list-style-type: none"> 運動会の様子を見ていて、子ども達の表情が明るく笑顔だったのが良かった。 コロナ禍を過ごした子ども達の運動能力には若干の不安がある。 歯磨き指導のさらなる充実を望む。
特 色 あ る 教 育 活 動 の 展 開	4 家庭と連携した健全な生活態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> 「家庭における性に関する指導について」というテーマで、学校保健委員会を中心に、授業参観やアンケートの作成・実施及び懇談会での話し合いを行った。保護者同士の情報交換をすることで、関心を高めることができた。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 家庭における性に関する指導については、職員、保護者、児童間で性の尊厳を基調とする共通認識を持って取り組んでほしい。 「学校保健委員会のまとめ」を拝見した。大事な取組だと感じた。 保護者同士の情報交換もやっていて良いと思った。
	1 総合的な学習の時間の充実 2 伝統やふるさとのよさを生かした体験活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 日曜参観日を設け、保護者やお家の方を招き、地域人材を活用して各学年特色ある活動ができた。 それぞれの学年の年間指導計画に従い、計画的に実施できた。 伝統的な行事である「二番穂刈り」については、今年度は実施できなかった。伝統を絶やさないように来年度以降も続けていきたい。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 参観日を設け、地域人材を活用した特色ある活動の推進は有意義だ。 日曜参観の様子から、地域の人材発掘というでも素晴らしい取組であると思った。 体験活動は、保護者とのコミュニケーションも取れていて良かった。屋内だけでなく、屋外の活動もあると良いを感じた。 伝統行事「二番穂刈り」の継続を望む。